

次の各文の太字のカタカナを漢字に直せ。

- 1 会社は有能な人材のカクトクのために苦慮している。
 - 2 他人をシゲキする発言は慎んだほうがよい。
 - 3 君の漢字力はイゼンとして劣っている。
 - 4 失敗の原因はタンテキに言えば努力の不足であつた。
 - 5 妻は夫のビミョウな心の変化に気づいた。
 - 6 司会者の一言でその場のキンチヨウがほぐれた。
 - 7 挫折を新たな飛躍のためのケイキにすべきである。
 - 8 生徒は教師に間違いをシテキされて動搖した。
 - 9 名医の評判が徐々に周囲にシントウしていった。
 - 10 家庭をイジするためには不斷の努力が必要である。

維持 浸透 指摘 契機 緊張 微妙 端的 依然 刺激 獲得

↓ 読 181 誤指敵 × ↓ 読 150 誤單的 × 異以前 II 刺戟 誤獲得 ×

誤侵透 × **指適** ×

- 11 旅の意味は目的地ではなくそのカティにある。
- 12 主題をハウクするには熟読が必要である。
- 13 他人のリヨウイキを侵してはならない。
- 14 学問のキュウキョクの目的は真理の探究にある。
- 15 概念の定義はゲンミツでなければならぬ。
- 16 努力がつねに報われると考えるのはサツカクである。
- 17 あの兄弟は、顔は似ていても性格はタイショウ的だ。
- 18 受験生をタイショウとした本を店頭に並べる。
- 19 戦争は多くの人々にギセイを強いた。
- 20 芸術家は想像力をクシして作品を創造する。

過程	把握	領域	究極	厳密	錯覚	対照	対象	駆使
----	----	----	----	----	----	----	----	----

異課程
↓ 読 58

II 究極

反曖昧 ↓ 読 10

↓ 読 167

異対象 ↓ 書 18 • 対称 ↓ 書 796

異対照 ↓ 書 17 • 対称 ↓ 書 796

● 「対照」は同種のものを比較して示す意、「対象」は物事や活動の目的を示すものの意、「対称」は物と物が対応していることの意。

次の各文の太字の漢字の読み方を答えよ。

- 1 助監督の会議での発言は示唆に富んだものだつた。
じさ
- 2 我が家を持つという長い間の念願がようやく成就した。
じょうじゅ
- 3 花火を見ながら河原を散歩するのは風情がある。
ふぜい
- 4 モーツアルトは稀有な才能の持ち主だつた。
ふぜい
- 5 彼と娘との唯一の絆は一枚の写真でしかなかつた。
けう
- 6 彼の他人に対する批判は自己嫌惡の投影である。
けんお
- 7 饒舌が必ずしも雄弁であるとは限らない。
じょうぜつ
- 8 頬廻を含まない成熟した文化はありえない。
ゆいはい
- 9 節度を弁えていることが、彼の成功した所以である。
ゆえん
- 10 彼女は曖昧な微笑を投げかけて去つて行つた。
あいまい

それとなく教えること。
そそのかすこと。
○書 26
なしとげること。
○書 167

独特の趣。
○書 591

めつたないこと。
○希

ただ一つで他ないこと。
○書 136

憎みきらうこと。
不愉快
に思うこと。
○書 117

多弁なこと。

おとろえ、すたれた不健
全なこと。

わけ。いわれ。こんきょ。

はつきりしないこと。
○書 453

- 11 美しさを鼻にかけた彼女の傲慢さには耐えられない。
- 12 職務を遂行するためには家庭に犠牲を強いた。
- 13 正直な気持ちを彼に告白すべきか否か躊躇した。
- 14 今度の出来事について彼の説明では納得が行かない。
- 15 イカロスは太陽に向かって天空を飛翔した。
- 16 二人の愛は未来永劫変わることはないだろう。
- 17 血のにじむような修行のすえ必殺の剣を会得した。
- 18 彼の理想と現実とは完全に乖離している。
- 19 その男は虚空を掴んで息絶えた。
- 20 これは血管の収斂作用を促進する薬剤である。

ごうまん
すいこう
ちゅうちょ
なつとく
ひしよう
えいごう
えとく
かぎりなく長い年月。

おごつて人をあなどること。
ためらうこと。
なしとげること。
他人の考え、行為を理解
し、もつともだと認める
こと。△書22

- こくう
かいり
しうれん
- 何もない空間、空中。
まるごと。
ひきしめること。ひきし
書511

次の空欄に適當な語を補つて四字熟語を完成し、また、その読み方を答えよ。

- 1 精神修養の結果安心立<□>の境地に達した。
- 命・あんしんりつめい
- 手がかりもないままに、あれこれとやつてみると、多くの人がみな口をそろえて同じことを言うこと。
- 天命をさとり、心が迷わないこと。
- 2 彼の研究はまだ暗中<□>索の段階である。
- 模・あんちゅうもさく
- 言葉に頼らず、互いの心から心に伝えること。
- 3 人々は<□>同音に彼の功績をたたえた。
- 異・いくどうおん
- 一度に大金を手に入れるこ
- 4 日本人は会話よりも<□>心伝心を重んじる。
- 以・いしんでんしん
- 一つのことを行い、二つの利益を得ること。
- 5 恋人の帰郷を一日千<□>の思いで待つ。
- 秋・いちじつせんしゅう
- 一つのことを行ふこと。
- 6 彼が受験生であることは一<□>瞭然である。
- 目・いちもくりようぜん
- 二つ以上の危機に直面した状態。
- 7 千金を夢見て競馬場に出かける。
- 獲・いつかくせんきん
- 二人以上の人気が心を一つにして結びつくこと。
- 8 一事業で富も名誉も得るのは一<□>両得だ。
- 拳・いつきよりようとく
- 二つ以上の危機に直面した状態。
- 9 両国間は一<□>即発の危機状態にある。
- 心・いつしんどうたい
- 二つ以上の危機に直面した状態。
- 10 私と妻とは死ぬまで一<□>同体である。

次の空欄に、□～□のうちから適当な語を補つてことわざ・故事成語を完成し、その意味として適當なものをイ～ヘのうちから選び、記号で答えよ。

□ □ □ □ □	□ □ □ □ □	□ □ □ □ □
10 9 8 7 6	5 4 3 2 1	□ をすくう
□ □ □ を掠 かずめる	□ が立つ	□ を割る
□ を引つぱる	□ をぬぐう	□ が焼ける

f e d c b a	f e d c b a	腹
目 鼻 手 顔 足 口	口 背 足 目 手	口

イ	めんどうを見て苦労する
めんどうを見て苦労する	イ
人にはまされる	口
白状する	すきにつけ込んで失敗させる
無視できないくらいにひどい	ハ
激怒をおぼえる	ハ
世間への面目が保たれる	二
人の行為をさまたげる	二
知らないふりをする	ホ
意外なことに驚く	ホ
自分の力では及ばない	ハ
こつそりと行なう	ハ

b 一 口	f 一 ヘ	a 一 ハ	c 一 イ	d 一 ホ	c 一 ホ	b 一 イ	a 一 ヘ	f 一 ニ	d 一 ロ	解 答
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-----